

第1回腐食分科会 議事メモ

日時：6月29日(金) 9:00-12:00

場所：東北大学青葉山キャンパス 量子工学棟 4F 会議室

出席者：JAEA：山本主査他 11名

配布資料：

- ・特殊環境下の腐食現象の解明 放射線環境下での腐食データベースの構築
- ・将来の廃炉俯瞰と腐食に関するニーズ・シーズのマップを作る
- ・福島第一廃炉俯瞰マップ
- ・Getting to zero incidents

議題：

1) 『放射線環境下での腐食データベースの構築』

H30年度の成果目標及び業務の方法

QSTをガンマ線照射実験の拠点にすることを進めている。ただし、線源のリプレイスが課題。

2) 『将来の廃炉俯瞰と腐食に関するニーズ・シーズのマップを作る』

長期間で変化しつつある炉内のCsなどの分布状況を考えないと現状の解析だけではわからないことがある。

廃棄物にして処分するときの観点で作業計画を考えるべき。

廃炉に向かう全作業において放射性物質の長期にわたる閉じ込め機能の確保が必須であり、腐食防食技術はその根幹の一つ。

3) 『配管減肉のモニタリングと予測に基づく配管システムのリスク管理』

平成29年度の日仏2国間連携研究として受託した。減肉の評価、モニタリング法、工学的リスク評価法の構築をフランス側と連携して実施していく。

4) その他、今後の進め方など

今年度の腐食分科会(リスクWGを含む)は昨年度と同じメンバーで進める。

英知事業の新規受託者で特殊環境下の腐食関連の課題は、オブザーバとして参加し、内容等を聞かせてもらうことを考える。

今回は、10月初めをめどに行う。

以上